～令和６年度　特別号～

発刊日：令和7年3月13日

iCS レター

祝 緑小学校ｉＣＳの取組が文部科学大臣表彰を受賞！

受賞した取組：ビオトープの設置と維持管理を軸とした子どもたちとともに考える環境教育の実践

緑豊かな緑小学校では、校庭の改修工事に伴い、子どもたちが自然に親しめるビオトープを設置しました。子どもたちを主体とした、ビオトープの維持管理を通じて、地域と学校が一体となってそれをバックアップする環境教育の形を実現しています。

ＣＳ委員会の熟議にて・・・

・緑豊かな緑小学校の特徴を生かした環境教育をもっと推進したい！

・学校の敷地内で自然を体験できるビオトープを作れないか…？

それに対して子どもたちは・・・

総合的な学習で「ビオトープのイメージ図」を作り、ＣＳ委員会に「こんなビオトープを作りたい！」という想いを投げかけました。

ＣＳ委員会では子どもたちからの協力依頼を受け、熟議を重ね、ビオトープの設置や維持管理について子どもたちが主体となり、地域がサポートする体制を作りました。

具体的にどのような活動があったのか見てみましょう！裏面に続く…

学校支援地域本部

地域コーディネーターの方が中心となって、地域のボランティアの方々と学校をつなげ、ビオトープの維持管理や環境教育に関する活動を一緒に進めています。

地域の木工クラブ

子どもたちがイメージした絵を元にビオトープの目印となる「看板」を作りました。

地域の陶芸クラブ

多くの生き物が住むことができるように、生き物の隠れ家となる焼き物の筒を作りました。

ゲストティーチャー

環境に適した植栽のレイアウト、共存できる生き物の種類等について教えていただきました。

CS委員会

ビオトープの維持管理を持続的に進めていくための話し合いの中で、地域の方と子どもたちが生物を観察する、「レッツビオトーク（ビオトープとLet's　talkをかけた造語）」という企画が生まれました。

子どもたちの自主的な学び

オンラインによる海外の小学校との交流授業にて、子どもたちが自主的にビオトープの紹介をテーマとすることを決めて、発表しました。

文部科学大臣表彰の授賞式

校長先生からのコメント

蓮根第二小学校などの取組を参考に、ビオトープを設置できないか、ＣＳ委員会で話し合いを重ね、地域の力をお借りして実現に至りました。来年度はコンポストの設置に向けて取組を進めていきます。

緑小学校の地域学校協働活動のさらなる発展に向けて、これからも尽力してまいります。

発行元：教育委員会事務局　地域教育力推進課　地域連携係　TEL3579-2619